



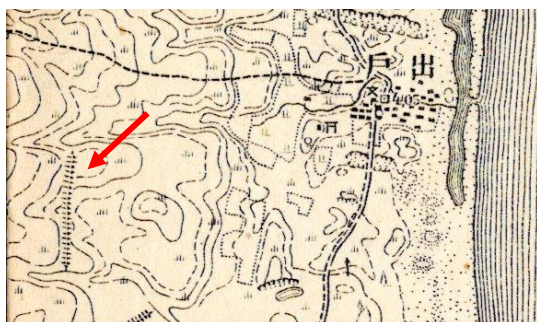
みいつけた!

六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信!

# 出戸に、昔の土塁を発見!

## ☆大正6年の地図についている土塁を発見☆

山岳会会長の小泉さんと出戸地区にある土塁調査に6月29日に行ってきました。以前から、「いつのものか?放牧用の土塁なのか?」知りたいとのことで、会長の軽トラで、土塁調査に行ってきました。



### 大日本帝国陸地測量部地形図

大正3年測量、6年発行の「5万分の1地形図野辺地十号」に、土塁が記載されている。(→)海成段丘の舌状台地上に、以前は、出戸地区の放牧場(民有地)があり、現在は村の牧草地となっている。

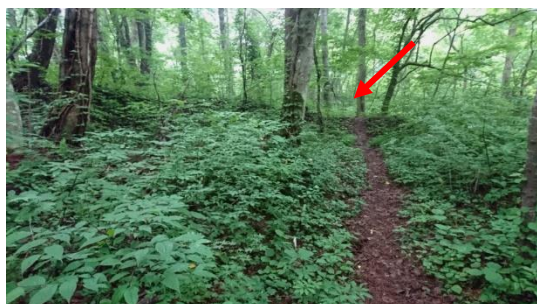
### 林の中の水芭蕉

牧草地から林の中に入っていくと小道の横に、小川が流れている。牛馬の水飲み場としても利用されていたと思われる。ぼんてん山の伏流水のようだ。



### 出戸地区放牧場の林の中に土塁

牧草地から西側に100mくらい行くと、正面に土塁があり、ところどころ崩れて低くなっている。国有地の境界となって、(林班番号2018)高さ約1.5m、幅約2m以上の土塁が、南北に延び、江戸時代の土塁と同じ大きさにみえる。



### 出戸の馬ハナシ(江戸時代から昭和20年頃まで)

出戸地区では、5月から雪が降るまでの間、天間林・伝法寺・五戸方面から、馬の放牧依頼の「馬ハナシ」が行われていた。約200から300頭(内種馬3頭)の馬で、福岡家には30人も泊まったりしていた。放牧のための手間賃として米をもってきて、放牧の野銭(ノゼニ:租税)は、集落に払っていた。頼んだ人は、お盆にも見に来ていた。



出戸地区の土塁

明治9年、雌牛28頭、雄牛6頭。雌馬27頭、雄馬9頭という記録がある。

※民俗資料調査報告書 村教育委員会 S51 年度より